

猪飼野詩集

金 時 鐘



なくても ある町。そのまま
のままで なくなっている町。

猪飼野——大阪市生野区の一画を占めて
いたが、1973年2月1日を期してなくな
った朝鮮人密集地の、かつての町名。

猪飼野詩集

金 時 鐘

東京新聞出版局

金 時鐘

1929年 朝鮮元山市出生
兵庫県立湊川高等学校教員

著書

詩集『地平線』デンドレ刊行会（1955）

詩集『日本風土記』国文社（1957）

長篇詩集『新潟』構造社（1970）

評論集『さらされるものとさらすものと』

明治図書出版（株）（1975）

猪飼野詩集

昭和五十三年十月二十日 第一刷印刷
昭和五十三年十月二十五日 第一刷発行

著 者 金 時 鐘

発行者 真 野 義 人
発行所 東京新聞出版局

東京都港区港南二ノ三ノ一三

中日新聞東京本社

振替口座（東京）五十五四九七

電話

〇三四七一一三二一（代表）
〇三四七二四四三四（直通）

印刷 猪飼野印刷株式会社
製本 白信製本有限公司

猪飼野詩集 目次

見えない町	8
うた ひとつ	19
うた ふたつ	28
うた またひとつ	39
寒ぼら	51
日日の深みで(1)	56
日日の深みで(2)	66
朝鮮辛報——この届くことのない対話——	91
朝鮮瓦報——この置き去られる遺産——	94
イカイノ トケビ	97
日日の深みで(3)	110
果てる在日(1)	124
果てる在日(2)	137
果てる在日(3)	143

果てる在日(4)

151

果てる在日(5)

156

いぶる

164

夏がくる

173

影にかげる

178

それでも その日が

すべての日

187

イルボン サリ

194

夜

197

へだてる風景

200

朝までの貌

206

跋 言葉の元手

安岡章太郎

215

あとがき

219

装丁 大木眠魚

猪飼野 大阪市生野区の一画を占めていたが、一九七三年二月一日を期してなくなった朝鮮人密集地の、かつての町名。

古くは猪甘津と呼ばれ、五世紀のころ朝鮮から集団渡来した百済人が拓いたといわれる百済郷のあとでもある。大正末期、百済川を改修して新平野川（運河）をつくったおり、この工事のため集められた朝鮮人がそのまま居ついでできた町。在日朝鮮人の代名詞のような町である。

猪飼野詩集

見えない町

なくても ある町。
そのままのままで
なくなっている町。
電車はなるたけ 遠くを走り
火葬場だけは すぐそこに
しつらえてある町。
みんなが知っていて

地図になく

地図にないから

日本でなく

日本でないから

消えててもよく

どうでもいいから

気ままなものよ。

そこでは　みな　声高にはなし

地方なまりが　大手を振ってて

食器までもが　口をもっている。

胃ぶくろったら　たいへんなもので

鼻づらから　しっぱまで

はては　ひずめの　角質までも

ホルモンとやらで　たいらげてしまい

日本の栄養を　とりしきっていると

昂然とうそぶいて ゆずらない。

そのせい

女のつよいたら 格別だ。

石うすほどの 骨ばんには

子供の四、五人 ぶらさがっていて

なんとはなしに食っている

男の一人は 別なのだ。

女をつくって出ようが 出まいが

駄駄っ児の麻疹はしかと ほおっておき

戻ってくるのは 男であると

世間相場もきまっている。

男が男であることは

子供にだけはいばっていること。

男の男も 思っていて

おけんたいに

父である。

にぎにぎしくて

あけっぴろげで

やたらと ふるまって ばかりいて

しめっばいことが 大のにがてで

したり顔の大時代が

しきたりどおりに 生きていて

かえりみられないものほど

重宝がられて

週に十日は 祭事つづきで

人にも バスにも 迂廻されて

警官ですら いりこめなくて

つくんだが最後

あかない 口で

おいそれと

やってくるには

ほねな

町。

○

どうだ、来てみないか？

もちろん 標識ってなものはありません。

たぐってくるのが 条件だ。

名前など

いつだったか。

寄ってたかって 消しちまった。

それで〈猪飼野〉は 心のうちさ。

逐われて宿った 意趣でなく

消されて居直った 呼び名でないんだ。

とりかえようが 塗りつぶそうが

猪飼野は

イカイノさ。

鼻がきかにゃ 来りやあせんよ。

大阪のどこかって？

じゃあ、イクノといえば得心するかい？

あらがった君の 何かだろうから

うとまれた臭氣にでも 聞いてみるんだな。

今もまだ むれた机は そのままだろうよ。

あけずじまいの ベンとうもね。

あせた包み そのままに

押しこんだなりで ひそんでいるさ。

知っているだろう？

あの抜けおちた 銭はげのような居場所。

いたはずのうなじが 見えてないだけなんだ。

どこへ行ったかって？

とどのつまり

齒をむいたのさ。

それで 行方不明。

みながみな 同じくらい荒れだしたので

だれも彼を 知ろうとはしない。

それからだよ。

がに股の女が 道をはばんでねえ

ニホンゴでないにほんごで

がなりたてるんだ。

いかな日本も

これじゃあ いつけるはずがないやな。

オールニホンの逃げだした！

イカイノに追われて

おれが逃げる。

俘虜の憂き目の